

学部の教育目的・目標および3つのポリシー

<国際リベラルアーツ学部国際リベラルアーツ学科>

教育研究上の目的および教育目標

本大学国際リベラルアーツ学部は、人文教養、社会科学、及び数的推理等に関する教育研究活動を通じて、広い国際的視野を持ち実践的な知識と技能を備え、創造力と行動力を発揮して理想の未来を創る人材を育成することを目的とする。

この目的のため、絶え間なく変化する社会に適応し、責任感と協働・連携の意識を持って社会に貢献するためのスキル、能力、特性を養うことで、たくましく生きる力を育成することを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

山梨学院大学では、『たくましく生きる力』を育成すること」を達成するために、学生が以下の能力を修得することを大学の学位授与方針とする。

ディプロマ・ポリシー
1.To Value Knowledge (Having high oral and written communication skills to be able to both comprehend and transfer knowledge) 口頭及び文書による高いコミュニケーション能力を修得し、有益な知識を効果的に伝達することができる。（全学 DP 2 に相当）
2.To Be Able to Adapt to a Changing World (Having critical, creative, problem-solving, intercultural skills, global and independent mindset to adapt to a changing world) 批判的思考力・創造力・問題解決能力・グローバルな意識を身につけ、多様に変化する社会に適応し、貢献する意欲をもっている。（全学 DP 1 に相当）
3.To Believe in Collaboration (Having a disposition to work effectively and inclusively in teams) グループ活動において、効果的に協働・連携することができる。（全学 DP 4 に相当）
4.To Act from a Sense of Personal and Social Responsibility (Having good ethical and moral values to make positive impacts in the world) 個人的及び社会的な責任感を持ち、倫理的・道徳的な価値判断に基づいた社会貢献ができる。（全学 DP 3 に相当）

教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

山梨学院大学では、学位授与方針に基づき、以下のとおり教育課程を編成・実施する。

カリキュラム・ポリシー	
教育内容	1. 語学科目（アカデミック英語科目・日本語研究科目）、基幹教育科目、及び各科目区分から一定の科目を履修することにより、全学 DP 及び学部 DP に掲げられた能力を身につける基盤を形成する。 2. グローバルビジネス・経済学、政治学、心理学、データ・サイエンス、人文教養、日本研究の分野を横断的かつ縦断的な学びから、批判的、創造的さらにグローバルな視点から思考し、協働して問題解決にあたる能力を身につける。
教育方法	1. 各科目区分を通じ、講義及び演習双方の授業形態において、知識・技能を伝授すると同時にそれらの活用力を育成するため、ディスカッション、プレゼンテーション、ディベート等のアクティブラーニング手法を用いた授業を実施する。 2. 実習科目においては、各分野において、企画・立案、実演、作品創作・制作を通じて、創造力・行動力・表現力を育成するために、実践型学習を実施する。
評価方法	1. 各科目区分の講義・演習科目においては、知識・技能の定着を測るだけでなく、知識・技能の活用力を口頭発表または論述（または双方）により評価する。 2. 実習科目では、実行過程における行動評価と指導の成果に対するパフォーマンス評価を行う。 3. 各授業の評価基準はシラバスと授業ルーブリックによって定める。 4. 卒業判定は、国際リベラルアーツ部履修規程に定められた基準によって行う。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

山梨学院大学では、学位授与方針に照らして、次のような意欲と能力を持つ学生を受け入れる。

アドミッション・ポリシー	
国際リベラルアーツ学部では、1) 意欲が高く熱心であり、2) 学問的な潜在能力と一定の学業成果を有し、3) 寛容な精神とともに、好奇心があり、批判的で柔軟な思考ができる、4) 本学部での学修に必要な基礎的な英語力と、英語の学習能力が備わっている人物、を求める。	
基礎的な知識技能	ほぼ全ての授業科目を英語で学ぶために、入学時に高等学校課程修了程度の英語力を身につけていることを求める。また、幅広い教養科目を履修するため国語、数学、理科、公民、地理歴史の基礎的な事項について学んでおくことを求める。

思考力・判断力・表現力等の能力	批判的、創造的、自立的、グローバルな思考力を身につけ、自己の考えを英語及び日本語を用いて適切に表現ができる人
主体性・多様性・協働性	国際社会で活躍するため、異文化に対し好奇心を持ち、多様な文化的背景を持つ人々と協働して共通の問題を解決する意欲の高い人